

<平成 25 年度>

## 都市整備部の取り組み実績

都市計画課	開発指導室開発調整課
都市整備推進室	開発指導室開発審査課
連続立体交差課	開発指導室建築安全課

### ■ 基本方針 ■

これからのまちづくりは、将来のまちの姿を見据え、地域の特性を活かすことが求められています。まちとは住みよさと活気とが調和して発展するものであり、私たち都市整備部はそれを支える一端を担っています。

平成 25 年度は、新たなまちづくりの行動を起こす重要な年度であり、本市の玄関口である枚方市駅周辺地域の再生、京阪本線連続立体交差事業の推進や魅力あるまちづくりを進めるための景観形成に取り組めます。また、市民が安全・安心に暮らすための民間建築物の耐震化の促進などにも着実に取り組めます。そのほか、良好なまちの形成をめざし、開発行為や建築行為などを規制・誘導しています。

### 実績

- ・枚方市駅周辺再整備ビジョンの実現化に向けた取り組みを進めるため、庁内推進委員会を設置した。
  - ・京阪本線連続立体交差事業は 12 月に事業認可を取得し、40 年度末の完成に向け事業に着手した。
  - ・景観計画の策定及び景観条例の制定を行った。
  - ・民間建築物の耐震化推進について新たに案内文書を送付するなど市民周知を行った。
  - ・開発行為、建築行為などの規制・誘導を行った。
- これらの取り組みにより、活力あるまちの発展に寄与した。

## I 重点施策・事業

### ◆京阪本線連続立体交差事業

新設した「連続立体交差課」により、平成 25 年度内の事業認可取得に向け手続きを進めます。また、専門的ノウハウを有する民間機関を活用

し、迅速で効率的な用地取得に向けた取り組みに着手し、事業の早期完成をめざします。

### 実績

- ・平成 25 年 12 月 13 日、京阪本線連続立体交差事業の事業認可を取得し、事業に着手。平成 26 年 1 月には事業認可説明会（5 回、延べ 453 名）、2 月に権利者説明会（16 回、延べ 495 名）を実施し、質疑応答等により事業への関心を深めてもらうことができた。
- ・用地取得業務に係わる役務委託発注（積算業務などの職員補助）することにより、事務処理の円滑化と効率化が図れた。
- ・用地測量業務を委託発注（境界確定）。

### ◆枚方市駅周辺再整備ビジョン

枚方市駅周辺が、本市の中心市街地にふさわしい魅力あふれ賑わいのあるまちとなるよう枚方市駅周辺再整備ビジョンに基づき取り組みを進めます。

### 実績

- ・ビジョンの実現に向けた取り組みを推進するため、8 月に庁内委員会を設置した。
- ・本地域関係者等へビジョンの内容の周知と今後のまちづくりについての意見交換を開始した。

### ◆景観計画の策定と都市景観条例の制定

中核市移行に合わせ、地域の特性を活かした魅力ある景観づくりをめざすため、景観基本計画の改訂、景観法に基づく景観計画の策定と景観条例の制定に取り組めます。

あわせて、大阪府より権限移譲された屋外広告物許可事務等について、条例を制定し、良好な景観形成に取り組めます。

### 実績

- ・都市景観審議会の答申を受けて 11 月に景観基本計画を改訂、3 月に景観条例を制定し、合わせて景観計画の策定を行った。
- ・12 月に屋外広告物条例を制定した。

### ◆枚方市駅耐震化事業

地震による鉄道施設の被害の未然防止や拡大防止を行うため、鉄道事業者が実施する枚方市駅の耐震化事業に対し、国、大阪府と協調して平成 25 年度から補助金の交付を行います。

#### 実績

枚方市鉄道駅耐震補強事業費補助金交付要綱に基づき、平成 27 年度の耐震化完了に向け、鉄道事業者が行う柱の補強工事に対し補助金を交付した。

### ◆住宅・建築物耐震化促進事業

安全・安心のまちづくりのため、「新耐震基準」が制定された昭和 56 年 6 月 1 日より前に建築された住宅・建築物の所有者を対象に、耐震診断・改修設計・改修工事及び除却に要する費用の一部を補助し耐震化の促進をめざします。

#### 実績

- ・耐震診断：228 戸
- ・改修設計：44 戸
- ・改修工事：37 戸
- ・除却工事：1 棟
- ・耐震化への啓発と補助制度の案内に関する文書の送付：約 9,500 名

## II 行政改革・業務改善

### <行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
14. 市域全体の建築物の耐震性向上(民間建築物の耐震化を促進)	補助制度の周知に努めるとともに、大阪府と連携しながら、補助制度の拡充を検討する。住宅および特定建築物の耐震化率 9 割をめざす。

#### 実績

- ・平成 25 年度は約 9,500 名に案内文書の送付を行った。(平成 27 年度まで実施)
- ・平成 26 年度より耐震シェルター設置工事を補助対象工事に加えるとともに、木造住宅耐震改修工事補助及び住宅除却工事補助の補助額を拡充するための要綱改正を行った。

改革課題	取り組み内容・目標
29. 外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	さらなる経営の安定化に向け、指導に取り組む。 (枚方市街地開発株式会社の経営健全化の促進)

#### 実績

- ・さらなる経営の安定化に向け、平成 27 年度までに経営プランを策定することについての申し入れを行った。

改革課題	取り組み内容・目標
39. 業務委託の拡大	京阪本線連続立体交差事業における用地取得業務の一部を外部委託化する。

#### 実績

- ・連続立体交差事業に係る用地補償積算技術業務について役務委託を行った。
- ・また、用地測量に係る業務を民間機関に委託した。

### <事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
枚方宿地区まちづくり協議会支援事業	まちづくり協議会の自立化に向け、段階的に法人化が図れるよう支援する。

#### 実績

- ・まちづくり協議会の自立化に向け、各業務内容の見直しに取り組むとともに、法人化をイメージした運営への工夫を促した。

事務事業	取り組み内容・目標
枚方宿歴史的景観保全地区修景助成事業	枚方宿地区において修景助成し、歴史的街なみの形成を効果的に進める。

#### 実績

- ・歴史的景観の保全を着実なものとするよう景観条例を制定した。4 件の修景助成を行い、歴史的街なみの形成を進めた。

事務事業	取り組み内容・目標
町家情報バンク 支援助成事業	賑わいづくりへの有効性を確保しつつ、類似事業との事務効率化に向け、課題整理を図る。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の平成 25 年度の実績はなかったため、引き続き、類似事業との効率を図るため改善に向け検証を進める。</li> </ul>	

#### <業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
事務内容の継承	担当する事務のマニュアルを更新し共有化する。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入職員や異動者を中心に部内全体で研修を行い、マニュアルの共有化を行った。</li> <li>・制度改正等に伴うマニュアルの更新を行った。</li> </ul> <p>これにより、円滑に業務を遂行することができた。</p>	

テーマ	取り組み内容・目標
会議時間の短縮	会議の目的、時間配分、役割分担を会議前に明確にし、共有する。
<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議前に会議趣旨を明らかにし、議論を深めるとともに、様式の統一化、保存場所の一元化により会議録の共有を行った。</li> </ul> <p>これにより、効率的で効果的な会議を運営することができた。</p>	

### Ⅲ 予算編成・執行

- ◆京阪本線連続立体交差事業の用地取得を効率的に進めるため、事務の一部を外部委託します。(予算額 4 800 万円)

#### 実績

- ・京阪本線(寝屋川市・枚方市)連続立体交差事業に関する用地取得業務について役務委託契約を行った。(3330 万円)

- ◆枚方市駅の安全性の向上のため、鉄道事業者が実施する耐震補強事業に対し補助金の交付を行います。(予算額 1116 万 7000 円)

#### 実績

- ・平成 27 年度の耐震化完了向け、平成 25 年度は鉄道事業者に補助金を交付した。(1115 万円)

- ◆都市計画審議会の会議録作成について、人件費縮減など効率的な業務の執行に向け外部委託します。

#### 実績

- ・都市計画審議会(今年度 3 回開催)の会議録作成について外部委託を実施した。(4 万 2300 円)

### Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆業務量の平準化や、現場調査の方法を見直すなど、業務改善をすすめ時間外勤務の縮減に努めます。

#### 実績

- ・グループ間で現場調査が必要な箇所を共有し、共同で現場調査を行うことで時間配分を効率化し、時間外勤務の縮減に努めた。

- ◆災害時の緊急対応を強化するため、災害出動班の再編成や研修の充実等により、職員の意識啓発を行います。また、災害時における建築物や宅地の安全確認を行う危険度判定士を育成し、資格取得者の増員を行います。

#### 実績

- ・都市整備部自然災害対応マニュアルの改訂を行うとともに、災害時の対応をより確実なものとするため、班編成と連絡体制の見直しを行った。
  - ・被災宅地危険度判定士の新規資格取得者 8 名
  - ・被災建築物応急危険度判定士の新規資格取得者 5 名
  - ・被災建築物応急危険度判定コーディネーターの新規資格取得者 2 名
- これにより、職員の危機管理意識の向上が図れた。

- ◆さまざまな行政課題に的確に対応するため、関係自治体との情報交換や実態に即した業務研修等を行うことで、自律型職員の育成に努めます。

#### 実績

- ・都市基盤の整備、維持・管理について情報共有を行うため、大阪府枚方土木事務所と地域づくり連携会議を実施した。
- ・市街地再開発事業や土地区画整理事業等の各市の取組みや実績について情報交換を行った。
- ・若手職員を中心に国や府に派遣研修を行った。(国1名 府2名)
- ・部に新たに配属された職員を対象に都市整備部の業務内容について研修を行った。

これにより、職員の資質向上が図られた。

- ◆業務マニュアルについて、常に更新、評価することで、部内の事務効率の向上に努めます。

#### 実績

- ・関連法令及び上位計画の改正や、新たな移譲事務に併せ窓口対応や事務処理マニュアルの見直しや作成を行い、職場周知を行った。

これにより、円滑な業務の遂行ができた。

## V 広報・情報発信

- ◆昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の所有者に対し、耐震化の補助に関する案内文書の送付を平成25年度より行い、耐震化の普及啓発を実施します。

#### 実績

- ・昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の所有者約9,500名に、耐震補助に関する案内文書の発送を行った。

(平成27年度まで継続して実施予定)

これにより、耐震診断件数が大幅に増加し市民の安全安心に対する意識が向上した。

- ◆公開対象となっている会議録や、計画策定および条例制定に関する情報発信を迅速に行います。また、京阪本線連続立体交差事業や枚方市駅周辺再整備ビジョンをはじめ、部の重点施策などの取り組み状況についても、ホームページ等を活用し、迅速かつ分かりやすい情報発信に努めることで、きめ細かい行政サービスを実現します。

#### 実績

- ・都市計画審議会や開発審査会等の会議録については、迅速な情報発信に努めた。
- ・枚方市駅周辺再整備ビジョンの内容を周知するため、本ビジョンの本編、資料編及び概要版をホームページに掲載した。
- ・連続立体交差事業の事業認可取得後の地元説明会について関係機関と情報交換を図り、できるだけわかりやすい説明に努めた。
- ・生産緑地地区の指定要件の変更や区域区分等の見直し方針等についてホームページ等により周知した。
- ・全国一斉に実施される建築物防災週間や違反建築防止週間についてホームページ等により周知した。
- ・分譲マンションの適正管理に向けて、マンション管理基礎セミナーを開催し、その概要をホームページに掲載した。
- ・都市景観基本計画改訂にあたり e-アンケート、また景観計画策定及び景観条例制定の際にはパブリックコメントを実施し、ホームページや生涯学習センター等で広く周知を行なった。